

3 . 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

- ・ 藤代バイパスの暫定2車線で開通したことにより、「現道の生活道路としての機能回復」、「現道の沿道環境の改善」について、一定の整備効果が得られました。現在は、事業を一時休止しています。
- ・ 小浮気交差点周辺において、朝のピーク時間帯に交通混雑が発生。
- ・ 騒音値は大幅に低下したが、夜間の騒音が環境基準値以上（要請限度は満足）の箇所がある。
- ・ 小浮気交差点周辺の混雑は、上り方向の直進車線が1車線となっているため、発生していることから、直線車線を追加すべく、現在、交通管理者と調整を進めている。
- ・ 適切な維持管理を実施し、状況の変化がみられた場合は必要に応じた改善措置を講じるなど、沿道環境の保全に努める。